

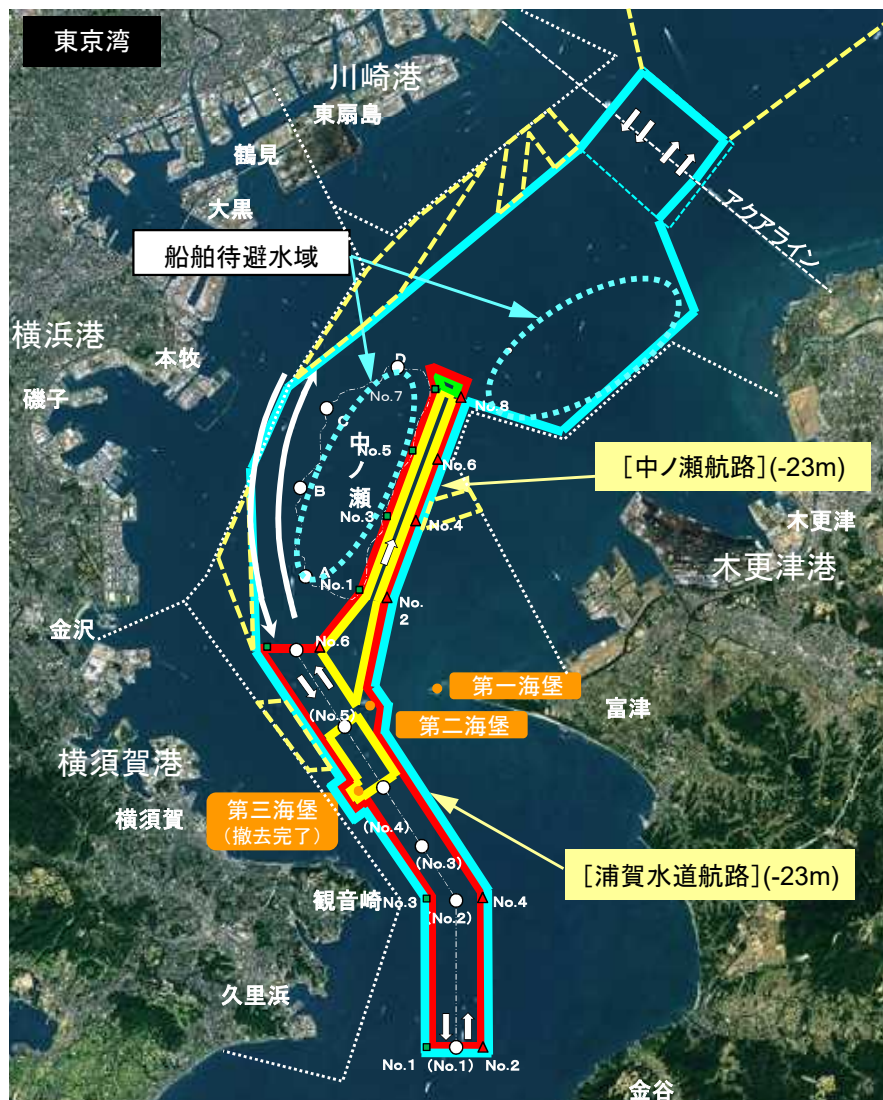
# 令和4年度 東京湾口航路事務所事業実施概要

---

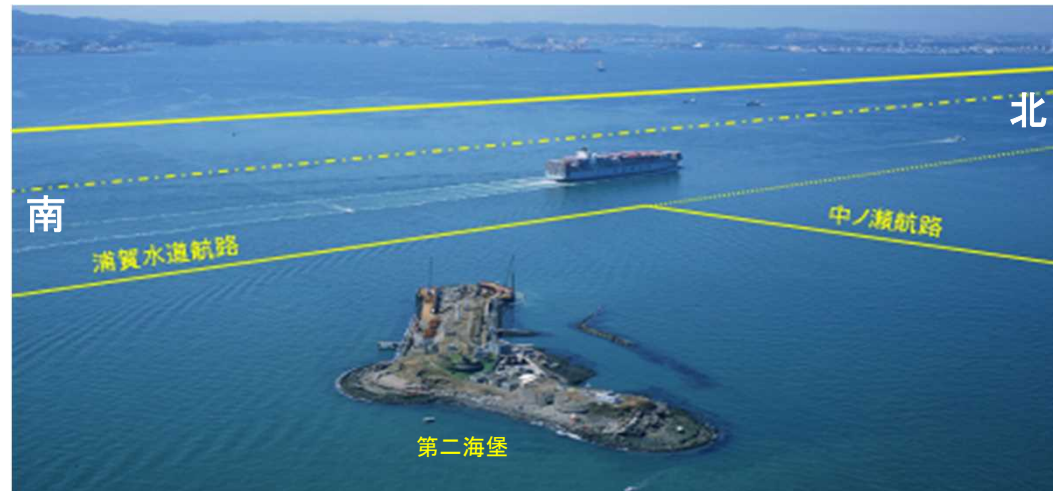
令和4年 7月

関東地方整備局 東京湾口航路事務所

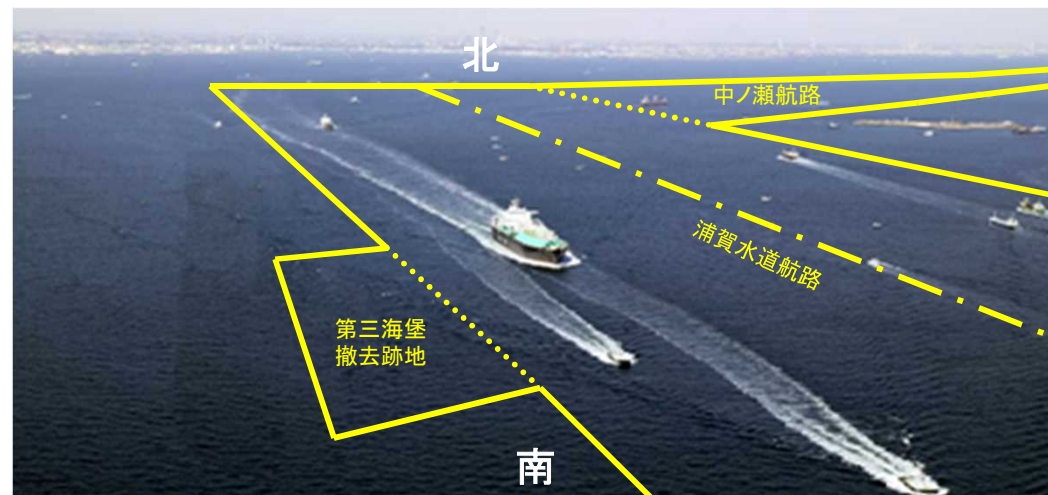
# 東京湾の開発保全航路「東京湾中央航路」



- : 1978年(昭和53)4月に指定された開発保全航路エリア
- : 2004年(平成16)4月に一部追加された北端部エリア
- : 2008年(平成20)12月以降の開発保全航路エリア
- : 2014年(平成26)1月以降の開発保全航路エリア
- : 緊急確保航路
- : 川崎港港湾広域防災区域



北行き



南行き

## ○開発保全航路とは

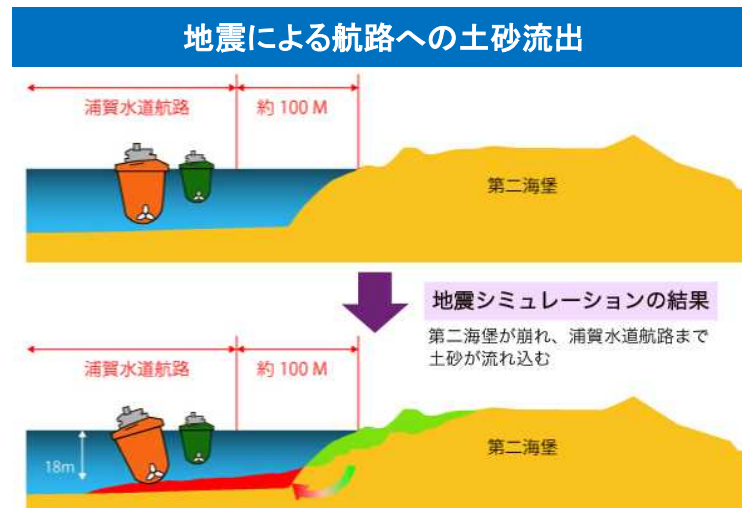
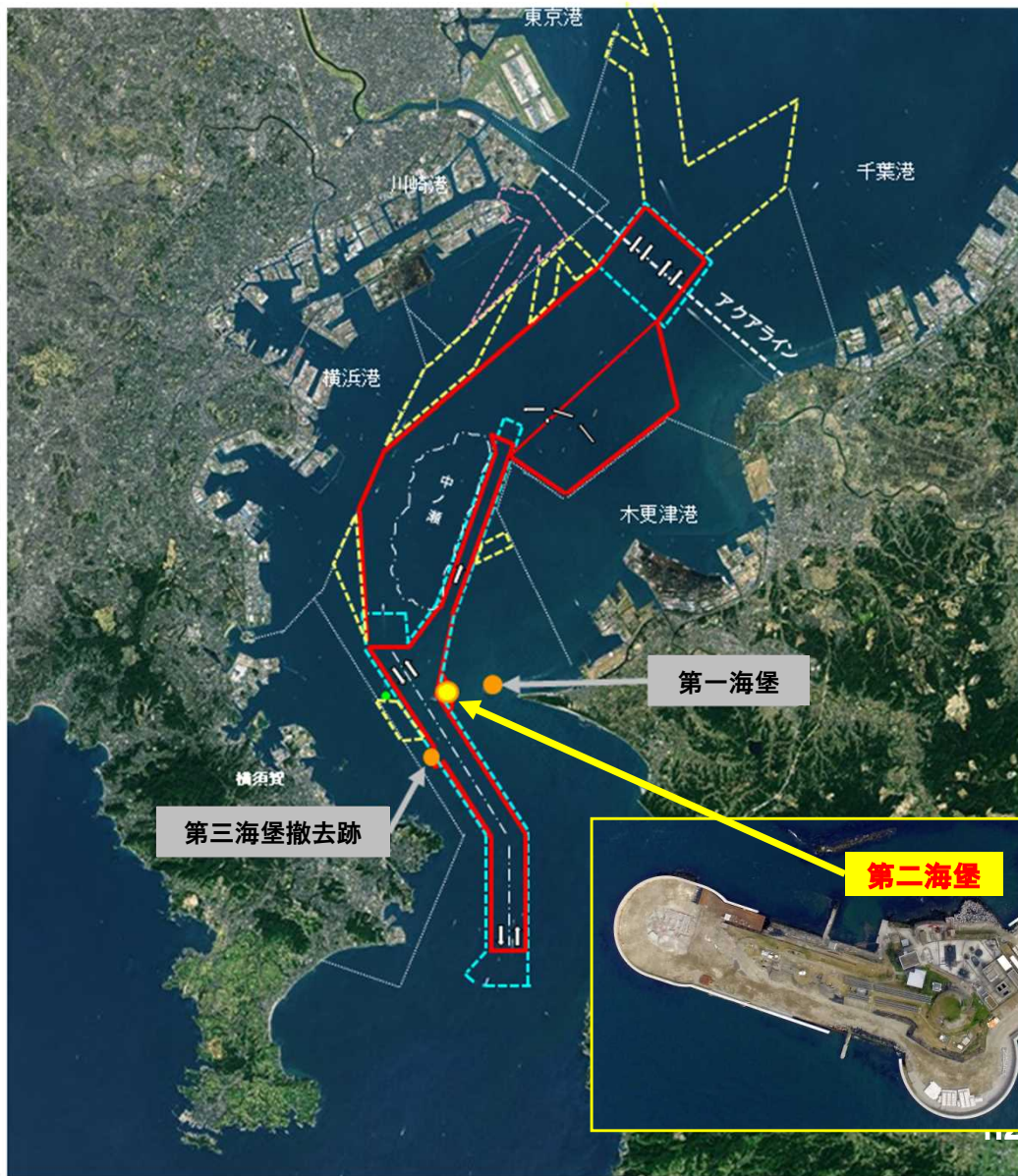
港湾区域及び河川区域(河川法に規定)以外の水域における船舶の交通を確保するため開発及び保全に関する工事を必要とする航路を「開発保全航路」といい、その構造の保全並びに船舶の航行の安全及び待避のため必要な施設を含んでいます。(港湾法より)

東京湾のほか、伊勢湾、瀬戸内海、関門海峡等にも配置されており、船舶航行量が多く、船舶交通の要衝である区域等の船舶の大型化や高速化に対応し、海上交通の安全性、効率性を向上させることを目指しています。

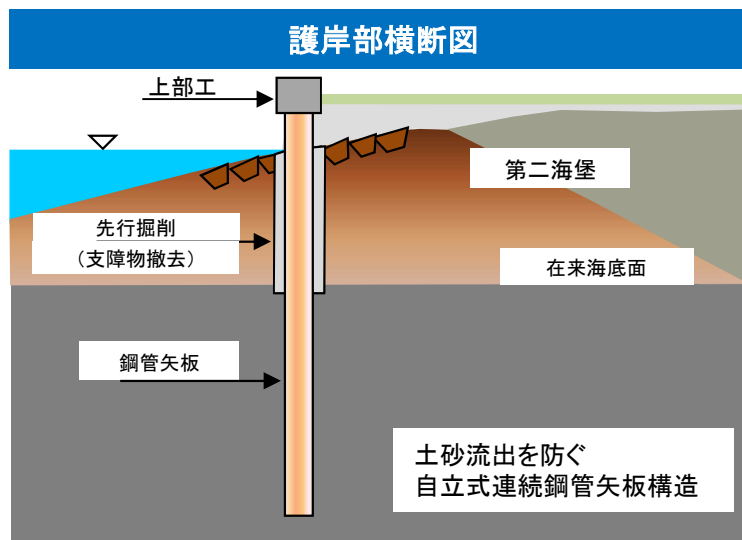


# 第二海堡整備（航路保全）

○首都直下地震などの大規模地震により、第二海堡の地盤が液状化し、護岸部が崩れて土砂が航路内に流出することが予測されたことから、航路の埋没により、航行船舶への影響、緊急物資の輸送などへの支障を生じさせないために2006年（平成18年）より第二海堡の護岸整備工事を行っています。



大規模な地震により、第二海堡の地盤が液状化し、法面が崩れて土砂が航路内に流出することがおきないように護岸整備を実施

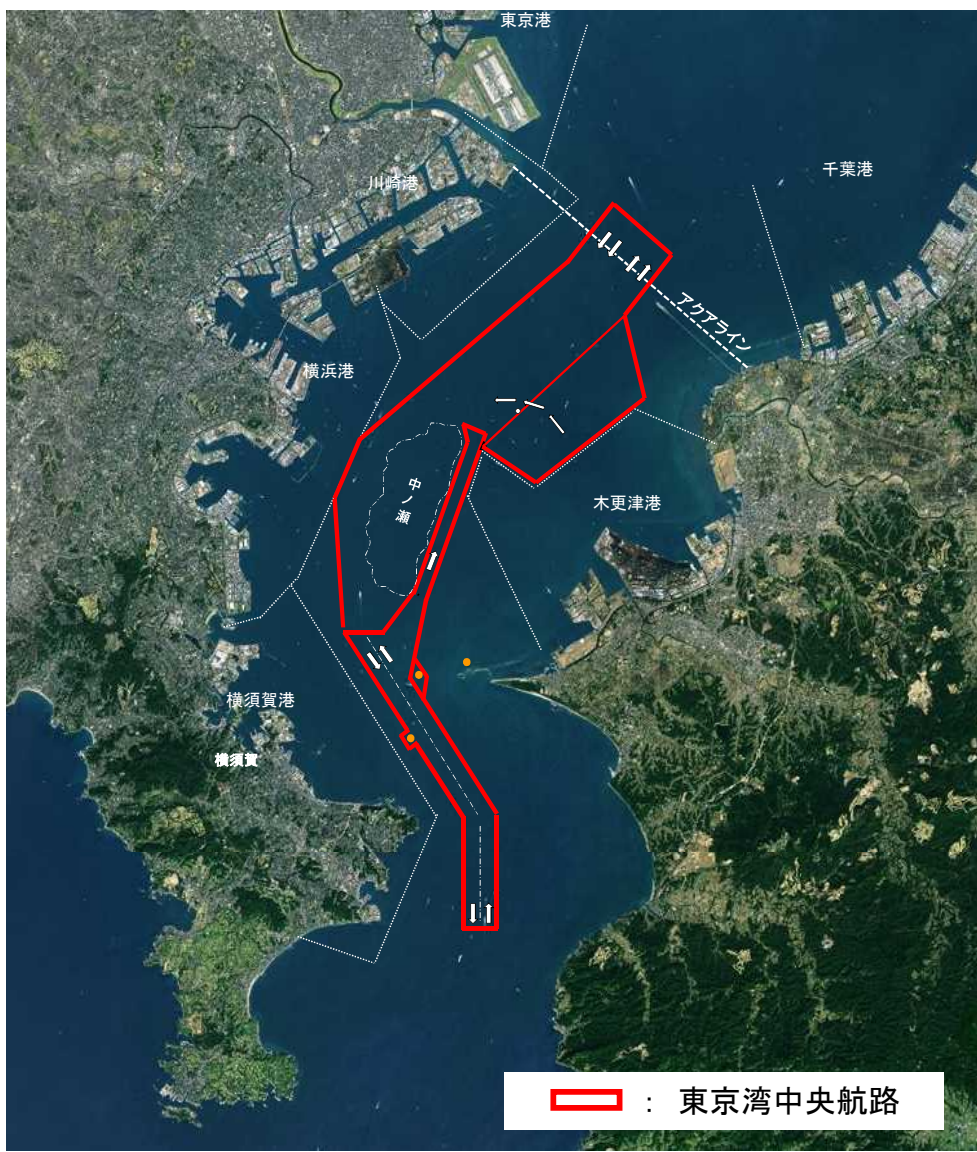




# 航路パトロール（開発保全航路の保全管理）

○東京湾中央航路の航路管理者として、同航路内の異常を把握するための監視パトロールや航路水深の確認などを行い、船舶が安全かつ安心して航路を航行できるよう、保全管理を実施しています。

管理範囲（東京湾中央航路）



航路調査船によるパトロール



うらなみ




べいさーち

# 令和4年度 工事・調査事業計画

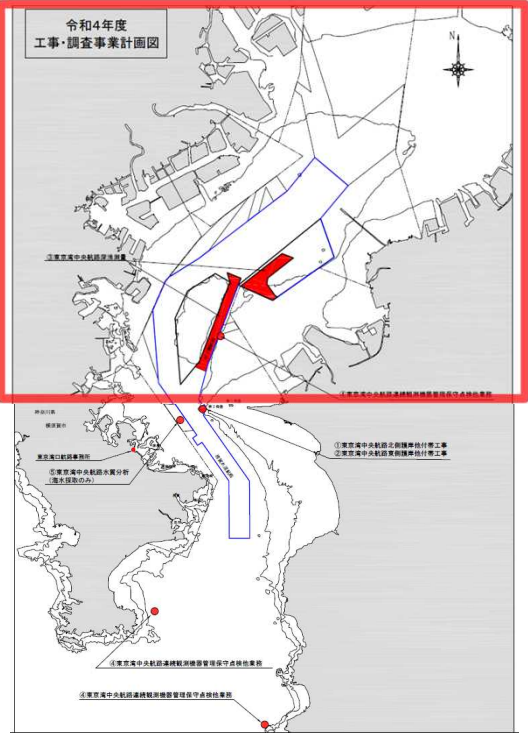
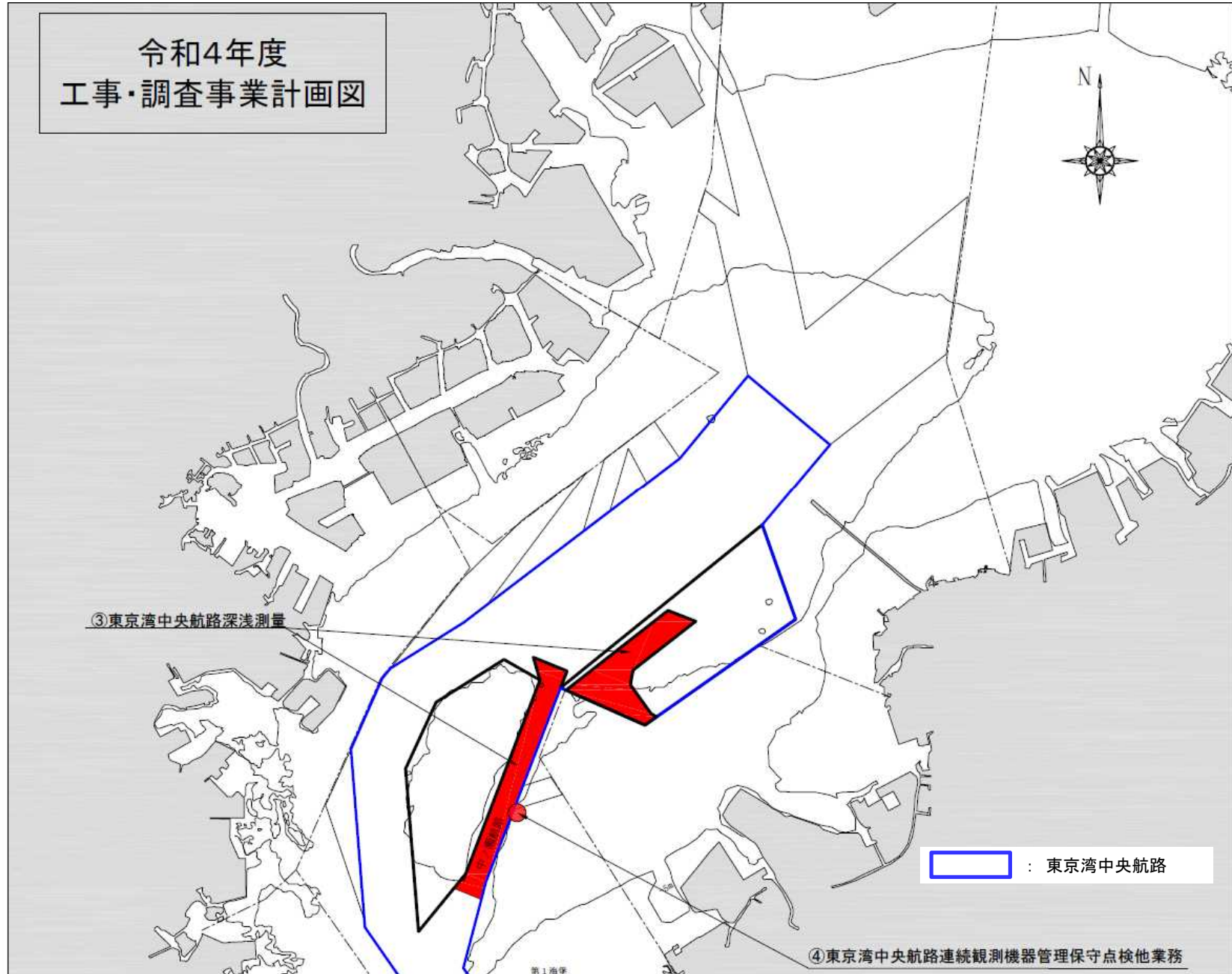
形態	区分	地区	工事・業務件名	令和4年度												概要他			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
請負	工事	① 第二海堡	東京湾中央航路北側護岸他付帯工事															第二海堡の北側護岸他工事 工期：R4.7～R6.3	
		② 第二海堡	東京湾中央航路東側護岸他付帯工事																第二海堡の東側護岸他工事 工期：約14ヶ月
	調査他	③ 東京湾中央航路	東京湾中央航路深淺測量																当局航路調査船(べいさーち)による中ノ瀬航路等の深淺測量 工期：R4.7～R5.1
		④ 中ノ瀬航路 金田湾 富浦湾	東京湾中央航路連続観測機器管理保守点 検他業務																中ノ瀬航路、金田湾、富浦湾に設置した水温計保守点検 水温測定はR4.4～R5.3(年間継続実施) 気中部・水中部点検：1回/月
直営	調査	⑤ 一般海域 (横須賀港 港湾区域沖)	東京湾中央航路水質分析(海水採取のみ)															海水中の放射能測定のための海水採取 採水期間：R4.4～R5.3(1回/週程度)	

注) 件名、工期等は変更となる場合があります。

 : 工事及び調査等実施期間



# 令和4年度 工事・調査事業計画図 ①



# 令和4年度 工事・調査事業計画図 ②

